

「あいさつ」

矢沢地域振興会
会長 中島 健次

この度の矢沢地域振興会総会において再任されました。矢沢地域の人口は7,900人と花巻市27コミュニティで4番目の規模です。住環境の整備も進み、文化観光施設も多くあります。矢沢「愛おしき矢沢」の実現に向けて確実に歩みを進めています。課題もあります。高齢化の進行への対応、教育環境の整

矢沢地域情報誌

やまぼろひ

No. 48

2024年 6月 1日

mail : yashinkai025@gmail.com

発行/矢沢地域振興会(矢沢振興センター内 5480) 印刷/トバン印刷



矢沢地域振興会の事業紹介

備充実、住民同士が支え合う地域自治の維持構築、そして安全安心の地域づくり等々に対応していかねばなりません。

また矢沢地域振興会の大きな責務である生涯学習の充実、地域づくり交付金事業の効果的な実施、関連施設の適正管理も進めて参ります。

今後も引き続き、各地域自治会、行政区長、関係する各種団体との連携を密にしながら住みよい矢沢づくりのため努力していききたいと思っております。



伝統芸能を伝承する若き舞手



美声が響き渡る文化祭



組子作成を通して図られる世代間交流

地域で取り組む環境整備

島地域環境保全の会

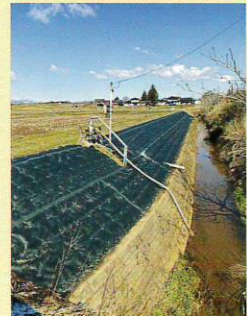
事務局長 畑福 安一

当組織は島(東十二丁目)地域の「農地・水・環境」を保全することを目的として、平成19年(2007)3月に発足をしました。

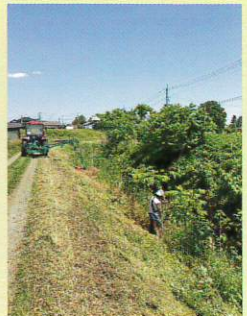
その後、平成26年度(2014)からは法律に基づく事業制度として位置づけられ、名称は「多面的機能支払交付金」となり今年で17年目を迎えました。

組織の活動としては地域の皆さん(280世帯)で草刈り・ゴミ拾い、道路花壇の植栽などに取組んでおります。また、当地域では圃場整備が遅れており排水条件等の悪いところなどは遊休農地が目立つようになっております。組織の発足当時は元気な方々により草刈隊(登録隊員数約90名)を結成して写真のように皆で草刈りをしてきましたが、高齢化に伴い年々参加者が減って近年は半数ほどになっています。このため幹線排水路等の草刈りは人力↓トラクターモアー↓防草シートの設置(写真)へと対応を変えてきました。地域の人口減少が続く以上これまでと違う対応

策が必要だと思っております。また新たな問題も出てきており、最近増加しているシカの被害など獣害対策にも取組を始めましたが、これから力を入れなければならない取組になりそうです。



防草シートの設置



トラクターモアーによる草刈



人力による草刈作業



草刈り作業に集結したトラック部隊

各種団体代表者のご挨拶

矢沢観光開発協議会

会長 福盛田 弘



日頃より皆様からのご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

会は、地域の観光事業の振興を図り、産業、経済、文化の発展に寄与する活動を致しております。

今年度の事業としては、タウン誌やさわ41号の発行。観光ガイド冊子は2年前から計画し取材を進めており、史跡、名勝地、神社仏閣等を地図に写真と説明文を掲載し年度内発行をめざします。

市指定天然記念物である、胡四王山の貴重なヒメギフチョウ群棲地の良好な生育環境整備を胡四王観光開発協議会のご協力をいただき実施します。

交通安全協会矢沢分会

分会長 大森 松司



一昨年より分会長を仰せつかり、二回目の総会を迎えるにあたり、年間の事業報告をまとめてみたところA4一枚には到底収まり切れず、さらには事業が記載されなかった月が6月のみで、通年にわたって何かしらの事業を展開していたことが分かり、我ながら驚き入ってしまった。

交通安全は毎日のことであり、当然と言ってしまうばそれまでだが、前分会長の佐藤和見様は、それを長年の間先頭に立たれ身を粉に尽力され、今の土台を築き上げてこられたことに、改めてただただ敬意を表する次第です。

私ごときは、当然前分会長の足元にも及びませんが、特に交通安全弱者と言われる子どもや高齢者の方々を中心に、今まで通り顧問ならびに副分会長ほか関係役員のみな様のお力添えをいただきながら、交通事故の無い安全で安心な明るい地域づくりの推進に鋭意努力してまいりたいものと、新年度にあたり気を引き締めているところです。

花巻市防犯協会矢沢支部

支部長 多田 章



私たち、防犯協会矢沢支部は、防犯意識の普及高揚の推進に努め、「犯罪のない安全で住み良い社会」の実現を図ることを目的に活動致しております。

今年度も青パトを活用した広報パトロール活動などに取り組みます。

無施錠による侵入窃盗、自転車盗の被害、公的機関を装う還付金詐欺や、架空請求詐欺などの予兆は依然として発生しています。

電話・訪問詐欺に注意しましょう。「カギかけ」しましょう。家も車も自転車も。子ども・女性の安全を見守りまし

う。インターネット犯罪に注意しましょう。あいさつで作る地域の絆。防犯活動に皆様のご協力をお願いします。

矢沢地区教育振興協議会

会長 小原 久一



義務教育学校の開校に向けて

日頃、皆様には矢沢地区教育振興協議会にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

矢沢地区も少子高齢化社会が進み子供たちの教育環境の整備が急務となっております。

矢沢小学校は昭和47年に旧矢沢小学校、島小学校、矢沢第二小学校が統合し、昭和49年4月に校舎が新築され50年が経過、矢沢中学校に於いては昭和53年に建築されて矢沢小学校同様にも老朽化が進んでおります。

未来を担う子どもたちのため、矢沢地区の地域特性を考慮しながらより良い教育環境の整備、充実を進めために現在、義務教育学校の開設に向けて検討しているところです。

義務教育学校の開校が矢沢地区の活性化に寄与するものと考えております。具体的にはまだ構想中ではありますが皆さんの声を反映し進めてまいります。今後とも宜しくお願いいたします。



矢沢地区体育協会

会長 越後 晃一



今年度より鴨澤前会長の後を受けて、会長を引き受けることになりました。

前会長をはじめ、関係各位の今までのご尽力に敬意を表しますとともに、引き続き今後も皆様からのご指導を賜り、努めていきたいと思っております。

体育協会の行事も近年のコロナ禍、進む少子高齢化の影響もあり参加人数を確保することが難しく、出場を見合わせる行状区も出てきました。

今年度はそうした現状を考慮し、年間の行事全体の在り方や参加人数等を再検討し、地域全体で、より一層スポーツを楽しむ交流できる体制を作っていくたいと考えております。

矢沢地区公衆衛生組合協議会

会長 谷川 勝志



両協議会の会長を務めることになり2期目になります。日頃から、地域の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

衛生組合 花巻市の一斉清掃(年3回)、地区協議会の一斉清掃(8月第一日曜日)事業があります。これに伴い、一般家庭のごみの分別の徹底と、不法投棄の対策、その他諸問題に取り組みたいと思っております。

環境対策 化製場の諸問題に、関係機関と連携強化を図りたいと思っております。

がら取り組み、更に地域の環境問題の取り組みを遂行していきたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。

花巻市社会福祉協議会矢沢支部

支部長 佐藤 智明



この度、諸先輩の後を受けて支部長に選任されました佐藤と申します。

今後2年間矢沢地区の全ての住民が支え合い、安全で安心な福祉のまちづくりを目指して頑張りますので、ご支援ご協力をお願い致します。

花巻市社会福祉協議会矢沢支部が発足(平成18年4月1日)して18年となり、事業も年々充実してきています。

高齢者向けには、「寿サロン」「敬老会」など、児童支援には「合同体験」「ニュースポーツ体験」など、障がい福祉には「キヤップハンディ体験」を、8月には「平和祈念戦没者追悼式」を、年末には「赤い羽根」等の募金活動も行っています。

また、令和10年度までの5年間かけて「矢沢ふくしのまちプラン」を提起します(6月に全戸配布予定)。地域で支え合い住みよい地域づくりを行っていく計画です。

「や」つてみよう
「さ」さえ合いましよう
「わ」か者が交流できる機会を作っていく

の3つの目標を掲げました。各地区での交流、企画に積極的に参加していきましょう。

小学校コーナー

温かい地域に見守られ
新しい学校へ向けて

花巻市立矢沢小学校

校長 長山 ゆかり



矢沢小
学校は今
年度、3
72名の
児童、32

名の職員でスタートしました。矢沢小学校にお世話になって2年目、毎日子どもたちの笑顔に出会う度に、地域の皆様への支えのありがたさを感じます。登下校の安全の見守りや、交通安全教室に指導してくださる皆様。講師として子どもたちの学びを深めてくださる皆様。様々な情報をお寄せいただき、学校を支援してくださる皆様。地域の力の強さは、矢沢地区の自慢であるとひしひし感じます。強力なバックアップのもとで我々職員が働ける幸せ、心から感謝申し上げます。

そんな矢沢地区に、順調に進めば令和10年度、義務教育学校が誕生します。小学校でも中学校でもない、全く新しいひとつの学校。矢沢小学校

と矢沢中学校がひとつになり、1年生から9年生が一緒の校舎で学ぶのです。現在の岩手県には一校しかない義務教育学校ですが、全国的に増加しそれぞれ特徴的な教育実践を展開しています。矢沢地区では、昨年度設立委員会を発足し、7つの専門部会に分かれて協議されています。子どもたちや地域にはそれぞれ「どんな学校ができたらいいか」「どんな子どもたちに育ってほしいか」というテーマでディスカッションをしてもらい、義務教育学校に望む意見の取りまとめを図りました。また、保護者や地域への説明会も行っています。

子どもたちの発想は豊かです。「みんな仲良しになる学校」「運動場がたくさんある学校」「たくさんのお遊具がある学校」等々、そのどれもが正直な気持ちなのだと思います。子どもたちの思い描く学校は、大人目線のものとは違うものもあります。自分たちが生きる矢沢の地にできる希望の学校という気持ちに変わりはありません。

様々な思いが込められた新しい学校へ向けて、まずは今、目の前にいる子どもたちの可

能性をできる限り伸ばしたい。それが我々職員の責務であり、今後も矢沢地域をたくさん学んで参りたいと思います。今後も地域の皆様のお力をお貸しください。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



新入生66名を迎えました

中学校コーナー

矢沢中学校 令和6年度
順調なスタート

花巻市立矢沢中学校

校長 八木 稔和



今年度
矢沢中学
校に赴任
いたしました
校長

八木稔和です。4月に着任して以来、慌ただしく毎日を過ごしておりますが、これから矢沢の生徒達のために精一杯努めて参る所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

矢沢中学校は、4月5日に61名の新生を迎え、生徒数175名で令和6年度のスタートを切りました。教職員スタッフは総23名。どの職員も生徒のために、日々奮闘しており、とてもエネルギー豊かな職員集団です。生徒一人一人の限らない可能性を信じ、「チーム矢沢」で心を一つにして取組んで参ります。

築46年となる校舎。老朽化に伴いメンテナンスが必要なところもありますが、日々の清掃活動で校舎と心を磨き、大切に使われています。校長室には歴代25名の校長先生の写真が掲げられています。

25名の校長先生方には、矢沢の伝統を受け継ぎ、しっかりと職務を全うするようにと毎日気合いを入られています。5月11日(土)の体育祭に

は、生徒の家族やたくさんの方々に越え頂き、競技、応援、運営にと生徒達が全力で取組む姿をご覧頂くこ

とができました。生徒達の姿からたくさんの方々の元氣と笑顔をもらい、心から感動させられました。矢沢中の生徒の持つ力は偉大です。これから更に生徒の魅力を発信して参りますのでどうぞご期待ください。

地域の皆様からは、今後様々な場面でご協力を頂きながら学校の教育活動を進めて参りたいと思います。家庭、地域、学校が一枚岩となり矢沢の子どもたちを立派に育てて参りたいと存じますので、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



わが同好会の紹介②
胡四王短歌会

多田 美和子

この会は故佐藤建さんを会長として平成21年に発足いたしました。その後平成27年より石黒和夫先生にご指導いただき現在16年目に入りました。

会員は矢沢地区2人、他地区3人で勉強しています。活動内容は月一回の勉強会、年一回の吟行会、矢沢振興センター秋の文化祭展示などです。花巻市の芸術祭文芸部門への応募も会員の大きな励みとなっています。

少しでも興味をお持ちの方に体験学習をお勧めします。次回の日時につきましてはセンターの方にご確認ください。(無料です。)

ちなみに5月の勉強会で披露された歌を紹介します。

◎これ飲めば 少しは元気

出るかもと

ドリンク一本

飲みて草引く

◎普段着で 出席できる

そこがいい

肩のこらない

胡四王短歌会



胡四王短歌会の皆さん

私のひとこと

森橋 健哉



娘が小4のとき、ソフトボールのスポ少「矢沢オレンジソックス」に入団しました。私たちの「追っかけ」のスタートです。矢小の同級生では3人が1年生のときから活動していて娘で4人目。まもなく幼なじみが入団して5人に。小6の春に全国大会出場を勝ち取り参加……する予定が、コロナ……。不完全燃焼のまま卒団。

中学では当たり前のようにソフトボール部に入部。オレンジソックスOGの先輩方はみんな優しく心も体も強い。中総体は、1年生のとき創部初の県大会第3位。2年生では県大会初優勝。

3年生4人が引退し、一つ下の学年4人と合わせた9人で新チームがスタート。令和5年。3年生になって1年生の新入部員はゼロ。しかし、同級生2人が転部して入部。未経験とはいえ、9人しかない部にとつて心強くありがたい。おかげさまで中総体県大会2連覇。東北大会第3位で全国大会出場。オレンジ

ソックスからの悲願をみごとに成し遂げ、私たちの「追っかけ」も猛暑の香川の地で卒業となりました。(全国大会出場の際は多くの方々からたくさんのご支援を賜り、心より感謝いたします。ありがとうございます。)

働き方改革にともなう部活動の地域移行で、クラブチームも増加傾向にあります。将来を見据えてクラブチームで実力を高めることはとてもいいことです。しかし、「学校の部活動」が衰退するとそれぞれの競技人口が減少していくことは明らかで、本当はやりたければど諦めざるを得ない子どもたちもいます。

もちもきつと出てくることでしょう。個人の力に差があることは紛れもない事実で、成長にも個人差があります。矢中ソフト部も決して上手な子どもたちだけではありません。「学校の部活動」で安心・安全に活動でき、ともに高め合えたことも勝因のひとつです。何かに挑戦しようとする気持ちや新しいことを始めようとする試みも、地域と連携しながら「学校の部活動」で守つてほしいものです。



編集後記

先日、新聞を眺めていると「子どもたちの間で麻雀人気が高まっている」という記事を見つけました。

昔はおじさんたちが徹夜で遊ぶものというイメージがありました。今や小学生向けの麻雀教室がにぎわい、大会も開催されているそうです。時代の変化を感じますね。

我が家は盆や正月に家族が帰省してくると、決まって麻

雀大会になります。今までは「また始まった」と思っていました。これからは「脳年齢の若返り！」と切り替え積極的に参加しようと考えています。時代に合わせ、自分自身のバージョンアップも必要ですね。

新年度がスタートしました。新型コロナウイルス移行から一年がたち、行事や物事のしくみの変化も見られます。固定観念や先入観を捨てて、時代の変化に対応できる人でありたい

編集委員

広報委員長 古川 洋一
副委員長 松田 好隆
広報委員 佐藤 信一
多田 繁
押切 和美
富手 冬樹
福岡 耕治
佐藤 寿子
浅沼美紀子

いなと思います。
(編集委員 押切 和美)